

提案項目			提案内容
大項目	中項目	小項目	
第1 基本事項に関する こと(50点)	プロジェクト マネジメント	(1) 実施計画について	(仮称) 消防共同指令センター高機能消防指令システム整備工事要求水準書の目的を理解し、温室効果ガス等の排出の削減等、環境に配慮した上で、本書第3章第1システムの基本事項を実現するために、実績を基に具体的な機能(提案)を記載した実施計画を作成すること。 ※重点項目: 基本事項2、4、5、9及び10の実現
		(2) 業務実績について	過去10年間の管轄人口が40万人以上の自治体(広域消防、共同指令センターを含む。)における高機能消防指令センター総合整備事業に係るシステム構築及び光IP119番回線構築の実績を取り上げ、「発注自治体名」、「契約書(写)」、「契約期間」、「契約金額」、「業務概要」を記載すること。
		(3) 業務体制について	(仮称) 消防共同指令センター高機能消防指令システム整備工事要求水準書に係るすべての業務を遂行するための業務管理体制及び情報セキュリティ管理体制を図表して、実務担当者の配置数、役割、作業内容を記載すること。 また、プロジェクトマネージャー、監理技術者が異動等により交代する事態となった場合の対処方法を記載すること。
		(4) スケジュール管理について	①(仮称) 消防共同指令センター高機能消防指令システム整備工事要求水準書に係るすべての業務を理解し、期限までに無理なく確実な新指令システム運用を開始するためのスケジュールを図表すること。また、具体的な作業内容を記載すること。 ②消防救急デジタル無線と新指令システム間の試験調整に係る作業内容を記載すること。 ③上記①及び②について、消防側と提案者側の役割分担を明確に記載すること。
		(5) 研修計画について	新指令員に対する新指令システム研修に係る研修計画、研修内容、研修方法について、具体的に記載すること。
第2 業務に関する こと(125点)	新指令 システムの 機能	(1) ①指揮台の機能について ②指令台の機能について ③指令員の操作について	①指揮台から各指令台を監視する機能を実績から具体的に記載すること。 ②119番通報から出場指令に係る操作短縮機能を実績から具体的に記載すること。 ③指令員の入力ミス、操作ミスを制御する機能及びミスが発生した場合は容易に修正する機能を実績から具体的に記載すること。 ※上記の提案に係る機能については、実績を明確にするため導入消防自治体名の記載を必要とする。
		(2) ①地図検索装置の機能について ②手書きパッドの機能及び連携について	①災害地点の場所特定をはじめとして地理不案内者からの携帯電話による通報に対して現場特定するための機能を実績から記載すること。 また、災害地点の決定支援に係る機能を実績から記載すること。 ②手書きパッドの機能を活用して、地図検索装置の地図や文字を現場活動隊等に情報共有する機能及び連携について実績から具体的に記載すること。 ※上記の提案に係る機能については、実績を明確にするため導入消防自治体名の記載を必要とする。
		(3) ①労務管理に係る出場車両の編成機能について ②出場車両の運用管理について	①出場時の車両編成において出場回数及び出場時間等を考慮した車両編成について実績から具体的な機能を記載すること。 ②各署所の実情に応じた出場車両の運用管理機能を実績から具体的に記載すること。 ※上記の提案に係る機能については、実績を明確にするため導入消防自治体名の記載を必要とする。
		(4) ①指令台の輻輳モード切替方法について ②指令台の通常モード及び輻輳モード時の運用について	①通常モードから輻輳モードに切り替える操作方法を記載すること。 ②通常モード及び輻輳モード時の画面レイアウトを図表し、輻輳モード時における指令管制業務に係る説明を記載すること。 また、最大輻輳モードとした場合の同時受付件数を記載すること。 ※上記の提案に係る機能については、実績を明確にするため導入消防自治体名の記載を必要とする。
		(5) 輻輳時の事案管理について	輻輳時の未対応事案を管理する機能について実績から具体的に記載すること。
第3 連携・継続・運用に関する こと(125点)	新指令 センターの 機能	(1) 消防指令業務共同運用について	①自動応援運用やゼロ隊運用など連携協力を実現させる機能について実績から具体的に記載すること。 ②指令員の指令管制技術向上に係る人材育成について、訓練計画を提案するとともに、訓練機能を実績から具体的に記載すること。 ③相互応援協定地域の変更等、柔軟な運用を実現させる機能を実績から具体的に記載すること。 ④共同運用における指令管制業務の課題等を整理して、それらを解決するための方策を記載すること。 ※上記の提案に係る機能については、実績を明確にするため導入消防自治体名の記載を必要とする。
		(2) 新指令センターの業務継続について	①新指令センターの業務継続が困難となった場合の指令管制業務(119番受付から出場指令まで)継続について、実績をもとに具体的に記載すること。 ②新指令センターの業務継続が困難となった場合の指令管制業務継続について、平常時と比較し、継続できる機能、継続できない機能の区分けをした上で、対策方法を記載すること。 ※上記の提案に係る機能については、実績を明確にするため導入消防自治体名の記載を必要とする。
		(3) 大規模災害時等の対応について	①首都直下地震のような大規模災害発生時等の災害状況、活動状況の把握ができる機能を実績から具体的に記載すること。 ②大規模災害時において新指令センター、災害現場及び各消防(局)本部との間で必要な情報が整理されており、それらを効果的にリアルタイムで有効活用する提案を記載すること。 ③大規模災害時において、指令員が混乱しないような工夫を具体的に記載すること。 ※上記の提案に係る機能については、実績を明確にするため導入消防自治体名の記載を必要とする。
		(4) 新指令センターのレイアウトについて	①レイアウト図を用いて指揮台からの監視について記載すること。 ②指令員が効率的に指令管制業務を実施できるレイアウトを図表し具体的な内容を記載すること。 (ミーティング場所、事務処理場所、表示盤の視認性、指令台から離席せず業務を継続する機能等の提案) ③新指令センターの感染症対策について具体的な提案を記載すること。
		(5) 消防OAシステムの機能について	①新指令システムと消防OAシステムの相互連携について記載すること。 ②各消防(局)本部の既存システムに係る各種データ移行作業の実施計画と実施内容について記載すること。 ③消防OAシステムへ入力した内容を整合する機能について記載すること。
第4 信頼性・安定性 に関する こと(50点)	信頼性・安定性	(1) 信頼性・安定性について	①重要装置のバックアップ(冗長化)について記載すること。 ②新指令センターに係る停電対策として備わっている無停電電源装置、直流電源装置及び発動発電機の性能を記載すること。 ③情報セキュリティ対策について具体的に記載すること。
		(2) 性能について	性能要件について記載すること。(指定様式)
第5 保守に関する こと(100点)	保守 対応	(1) 保守対応の内容について	①各装置の耐用年数及び保守期限について具体的に記載すること。 ②各装置の耐用年数及び保守期限に係る長寿命化について提案すること。 ③保守点検の回数、各装置の保守対応時間、その他保守条件について明確に記載すること。
		(2) 保守費用(1年間・ランニング)について	①上記(1)にて提案した「保守対応の内容について」を実施するための保守費用について記載すること。 ②各装置の更新計画と安定稼働を考慮した考え方を具体的に記載し、10年間の更新計画書及び金額表を提出すること。 ③すべての装置及び部品等の負担区分(発注者、受注者に係る保守契約交換または有償交換)について明確に記載すること。 ④金額表に記載している金額について根拠となる計算資料を提出すること。 ⑤ランニング費用を低減する工夫について記載すること。
		(3) 保守対応の体制について	①保守体制について記載すること。 ②保守のリモート体制について記載すること。
	障害 対応	(4) 障害発生時の対応、専門技術者の派遣について	①障害の受付から対応までの流れについて記載すること。 ②指令制御装置、自動出動指定装置、車両運用管理装置等の重要装置の障害発生時、専門技術者の迅速対応について具体的に記載すること。
		(5) 障害発生時の指令員の対応について	①障害復旧の対応策について記載すること。また、指令員が障害復旧に対応する場合に考慮する点について具体的に記載すること。 ②連絡体制と障害復旧に向けた対応等について考慮している点を具体的に記載すること。 ③障害発生時の指令管制業務への影響を最小限にするための工夫を記載すること。
第6 将来性 に関する こと(50点)	将来性	将来の高機能消防指令システムにおける高度化(業務継続・時間短縮・指令共同運用に係る支援・住民サービス向上)に向けてより良い提案があれば記載すること。(複数記載可能) ※実績を含み提案すること。	